

教科別採択教科書報告書

教科名 音楽	分野等 音楽(一般)
出版社 教育芸術社	書名 中学生の音楽
1. 学習指導要領への対応 (1)学習の目標を明確に示すとともに、生徒が思考できる問いがあり、主体的に学べるよう工夫されている。また、自分で考える、友達と意見交流する、音楽を表現するなど様々な活動場面を示し、対話的な学びを引き出すよう配慮されている。 (2)各学年の目標や内容に対応した教材を適切に取り上げ、資質・能力を育みながら学びが深まるよう構成が工夫されている。また、音色、リズムなどの音楽を形づくっている要素と題材の関連が提示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら目標が達成できるよう配慮されている。	
2. 内容について (1)音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わっているのか段階的に視野を広げて考えられるようにしており、国際理解や道徳的な心情を養うなど、県の教育施策に関連する内容が適切に取り上げられている。 (2)我が国の郷土の音楽文化に興味・関心をもつとともに、生徒が住む地域の文化に親しむことができるよう各地に伝わる民謡や祭り芸能を取り上げている。また、諸外国の音楽にも触れることで、多様性を理解できるよう工夫されている。	
3. 造本について (1)楽譜、文字、写真、図表等は発色もよく鮮明であり、大部分にユニバーサルデザインが施され、判読性・視認性が高い。また、識別しやすい色の組み合わせを選ぶなど色覚特性に配慮されている。 (2)見開きで見やすい判型である。厚さは薄く、軽量で、学習する上で扱いやすい。	

教科別採択教科書報告書

教科名 音楽	分野等 音楽(器楽)
出版社 教育出版	書名 中学器楽 音楽のおくりもの
1. 学習指導要領への対応 (1) 楽器の演奏方法を学ぶための手順が分かりやすく示され、主体的な学習ができるように配慮されている。また、楽器の特徴等に着目し、関連楽器を比較しながらワークシートで学び、生徒同士の対話等を促す問いにより、協働的で深い学びができるように工夫されている。 (2) 楽器ごとに学習のねらいや身に付けたい技能を明示しながら、演奏方法のポイントに加え、学習のまとめとなる曲が示されているため、深い学びができるよう工夫されている。また、地域や文化の違いによる音楽の多様性について学習活動を行えるよう、適切な教材が配置されている。	
2. 内容について (1) 生徒の学習意欲を高めるために、学習手順が分かりやすく示されており、日本人が長く親しんできたテレビアニメの楽曲が掲載されるなど、興味・関心を高めながら練習することができる。また、演奏家のメッセージはキャリア教育の推進につながる内容である。 (2) 学習内容を段階的に学べるよう配慮することで、生徒が無理なく技術を身に付けられるよう工夫されている。表現方法、文字の配列やフォントを使い分けるなど、細部にわたり配慮されている。	
3. 造本について (1) 判読性・視認性の高い配色とレイアウト(カラーユニバーサルデザイン)やユニバーサルデザインフォントが使用され、細部にわたって配慮されている。 (2) 見開きで見やすく、扱いやすい判型である。	